第3回 京都エリア駐車場対策協議会 議事概要

開催日：令和7年 3月 6日（木）
時間：15：00～17：00
場所：京都国道事務所5F会議室

1. 秋の観光シーズンにおける駐車場関連の対策・取組み

- 事務局より、京都国道事務所による駐車場予約システムの運用結果を報告するとともに、京都観光デジタルマップの紹介を行った。また、京都市による駐車場に関連する対策について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおりである。
 - 京都市では非自動車分担率 80%超を数値目標として掲げており、自動車での入浴は着実に減少している状況である。今年度は京都国道事務所と連携してパーク＆ライドの周知を図ったことから、今後も引き続き協力しながら目標達成に向けて取り組んでいきたい。
 - 将来的には、京都観光デジタルマップ（京スマ）にパーク＆ライドの情報を盛り込んでいくと良いのではないかと。京都を訪れる際は、公共交通機関の利用を基本とし、車で来訪する場合はパーク＆ライドを活用、それでもやむを得ない事情がある方（足が不自由な方など）は事前予約制とするのが理想的なので、今後も国と京都市が連携し、更なる推進を図って頂きたい。
 - Web サイトを訪れたユーザーのログ（記録）を分析することで、「いつ・どこから・どのように」サイトへ訪問し、閲覧したかを推察すれば、今後の展開に繋がるのではないかと。特に、自動車利用者の特性などを把握することで、より多くの方々に訴求できる可能性があると思われる。

2. 秋の観光シーズンにおける東山エリアの混雑状況

- 事務局より、秋の観光シーズンにおける東山・清水周辺の混雑状況を説明し、令和6年度の駐車場対策の結果報告を行った。委員からの主な意見は以下のとおりである。
 - 今後の情報提供戦略として、SNS による発信強化などを検討しているため、ターゲット設定の在り方などの検討する際の参考として、今回の取組結果を活用させて頂きたい。
 - 京都市全体の流入交通量や、主要なインターチェンジ（IC）から観光地までの所要時間を経年的に整理しておくことで、施策の効果を検証する際の重要な評価指標となるのではないかと。交通状況の変化を把握し、より効果的な対策を講じるための基礎資料としても活用できる。
 - 道路ネットワークに機能障害を起こしているのであれば、適切にマネジメントすることで交通渋滞は解消・緩和するのではないかと。

3. 東山・清水周辺の渋滞要因を踏まえた対策の方向性

- 事務局より、東山・清水周辺の渋滞要因を分析した結果について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおりであり、頂いた意見を踏まえて今後の検討・調整を進める。
 - 今回の取り組みを総括すると、「予約システムに全く可能性がないわけではない」という点が、大きな収穫の一つと言えるのではないかと。今回は予約システムサービスの利用者が少なかったが、多くの課題や気づきを得ることができたと思われる。
 - まずは「クルマを使う人にとって予約とはどういうものか」を改めて考え、予約の価値というのを見い出す必要があるかと思われる。仮に、予約を入れてもスムーズに走行できなければ、

目的地に到着できないため、予約制単体ではなく、交通全体を見据えた施策が必要である。

- 一方で、実際に「予約ができてよかった」「清水寺に行けた」というポジティブな声も少なからず寄せられており、一定の評価を得られたことも事実である。
- 交通容量が超過している場合、流入する交通をどうマネジメントするかだと考えられる。流入抑制を図る上で、公共交通機関であるバスやタクシーは一定受け入れるべきである。その上で、駐車場の事前予約制との整合を図りながら、一般車の流入をどのように抑制するかについては、引き続き議論を重ねていきたい。